



本市のポテンシャル

1 本市の特色・特徴

工業系企業の立地環境

- 本市には、国際拠点港湾である新潟港、国内外と結ばれた拠点空港である新潟空港のほか、北陸自動車道・磐越自動車道・日本海東北自動車道といった高速道路や、東京都と最短89分で結ばれる上越新幹線など、充実した広域交通基盤があります。
- 8地区の工業用地を含めた市内にある工業団地の多くは、いずれも高速道路インターチェンジや現在整備中の新潟中央環状道路などに近接し、交通の利便性に優れた場所にあることから、本市は物流ネットワークの要衝として高い拠点性を備えます。
- LNG基地や石油備蓄基地・油槽所が新潟港東港区に立地し、エネルギー供給地としての拠点性を備えるほか、企業が多く集積する太平洋側との同時被災リスクが低い、BCP最適地としての強みも併せ持ちます。

オフィス系企業の立地環境

- 本市の生産年齢人口の約40%が30代以下の若年層であるとともに、本市には、10大学・4短大・44専修学校が立地することから、雇用確保の競争が激しい大都市圏に比べ、豊富で安定した人材の確保が可能です。
- 東京都と上越新幹線で最短89分で結ばれるなど首都圏との近接性に優れ、オフィス賃料水準においても東京都の半額程度であるほか、本市に進出するオフィス系企業に対する充実した補助制度など、本市の優位性が評価されており、多くの企業誘致に繋がっています。
- 令和3(2021)年には、本市都心部が都市再生緊急整備地域に指定され、オフィスビルの新築や建替が促進されています。令和4(2022)年には2棟の新たなビルが竣工し、多くの首都圏企業の進出が決まっています。

本市の地域特性

- 平成29(2017)年度に、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律(以下、「地域未来投資促進法」という。)に基づき、地域特性を活かした経済成長を目指す「新潟県新潟市・聖籠町基本計画(以下、「基本計画」という。)を策定しました。
- 基本計画では、本市の地域特性として7分野を定めました。そのうち下記6分野が本市産業における大きな強みです。

なお、令和4(2022)年度に基本計画の変更を行い、7番目の分野(鳥屋野潟南部地区の大規模スポーツ施設などの広域集客力を生かし、食と花・みなとまち文化などの観光資源と連携した交流拡大まちづくり分野)を追加しました。本分野は、別途定めた計画があるため、個別に推進する取組とします。

基本計画は、本市と聖籠町の2自治体の計画のため、以下6つの特性に関する記載は、聖籠町を含めた統計や聖籠町に立地する企業があります。

地域特性① 航空機関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野

- ・ 本市では、成長分野である航空機産業に着目し、平成20(2008)年から、産官学連携による産業振興の取組「NIIGATA SKY PROJECT」を展開しています。
- ・ 特殊工程の国際認証を有する工場が立地するなど、機械加工から表面処理・非破壊検査までの多工程を地域内で一貫して受注することができる体制を整えるとともに、高いレベルの生産管理や品質保証力を有する企業が集積しています。

地域特性② 米などの農業特産物を活用した食品・バイオ関連分野

- ・ 稲作を中心とする高い農業生産力を背景に食料品製造業の製造品出荷額等が2,832億円(製造業全体の24.7%:令和元(2019)年工業統計調査)と、製造業において最大の割合を占める産業であり、地域産業の牽引役となっています。
- ・ 食品産業は、素材を供給する農業・漁業のほか、機械製造業、印刷、梱包関連業、運輸業、卸売・小売業、サービス業など関連業種の裾野が広く、多様な異業種が関連することから、経済波及効果が期待できます。

地域特性③ 地域の企業が保有する金属加工や機械組立加工などの技術を活用した成長ものづくり分野

- ・ 本市は、国内最大の石油製造・卸会社の発祥の地として、石油掘削機械の製作・修理等から派生した精密加工技術を特徴とする機械・金属関連産業が集積し、事業所数が製造業全体の44.2%(令和元(2019)年工業統計調査)を占めます。
- ・ 日本を代表するメーカーをはじめとする機械組立加工技術を活かした機械関連産業や、切削加工や表面処理など、世界に誇る金属加工技術を有する金属関連産業が立地していること、また集積していることは、本市産業の大きな強みの一つです。

地域特性④ 情報通信関連産業の集積を活用した第4次産業革命分野

- ・ 本市は、ソフトウェア産業のほかコンタクトセンターやBPOセンターを含め、情報通信関連産業が集積し、第4次産業革命に代表されるIoT、ビッグデータ、AIを活用する産業の素地が整っています。
- ・ 新潟大学や新潟国際情報大学など10大学・4短大・44専修学校があり、幅広い分野への人材を輩出しており、情報系学科のある教育機関についても2大学・10専修学校と、第4次産業革命の推進を下支えする基盤として期待できます。

地域特性⑤ 拠点性を支える物流関連産業の集積を活用した物流関連分野

- ・ 本市には、国際拠点港湾であり、日本海側の総合的拠点港である新潟港や拠点空港である新潟空港があるほか、北陸自動車道・磐越自動車道・日本海東北自動車道の3つの高速道路が国道7号・8号・116号等で構成される地域高規格道路(バイパス)に繋がるなど、本市は陸・海・空を結ぶ交通ネットワークの要衝となっています。
- ・ 交通の利便性が高いことから、新潟空港・新潟港東港区周辺などを中心に、パルプ・紙・紙加工製造業、化学工業、繊維工業といった主に原料輸入や製品輸出を行う港湾空港隣接地ならではの、素材関連製造業の集積に伴い、輸送を担う物流業が発展しています。

地域特性⑥ 新潟港など拠点性の高い交通インフラを活用したエネルギー関連分野

- ・ 新潟港は、その利便性の高さから、太平洋側へパイプラインで供給しているLNGの日本海側最大級の受入基地が立地するほか、石油備蓄の国内第1号基地設置の背景から、エネルギー供給の拠点となっています。
- ・ 本市に立地する家庭用暖房機器製造企業が、都市ガスによる燃料電池分野に参入したほか、新潟港東港区を中心に電気・ガス・熱供給等の関連企業が複数立地するなど、脱炭素社会の構築に向け、エネルギー関連分野の集積が今後期待されます。

2 新たな視点・取組

にいがた2km

- 約60年ぶりの新潟駅リニューアルを契機に、新潟駅～万代～万代島～古町を結ぶ都心軸の周辺エリアを「にいがた2km」と名付けました。
にいがた2kmを、人・モノ・情報が行き交う活力ある都心エリアとし、都市機能の更新・充実に向けた再開発の促進による高次都市機能の集積や8区とのネットワーク強化を図りながら、「本市経済・産業の発展を牽引する成長エンジン」としていく取組を推進します。
- にいがた2kmには、多くのオフィスビルや、県内最大級の民間イノベーションスペースである「NINNO」があり、首都圏からの進出企業のほか、地域のオフィス系企業が集積しており、様々な事業の共創が期待されます。
- にいがた2kmでは、信濃川やすらぎ堤から河口の左右岸へと繋がる、自然豊かな水辺空間の形成が図られています。都心の中にある水辺空間をはじめ、人に優しく歩いて楽しい「ウォーカブルなまちづくり」を進め、都心の魅力を活かした賑わいの創出が期待されます。

脱炭素

- 令和2(2020)年12月に、本市は令和32(2050)年までにゼロカーボンシティの実現を目指すことを宣言しました。世界や国内でカーボンニュートラルに向けた動きが進む中、本市においても豊かな環境を将来世代に引き継いでいけるよう、多様な主体とともに脱炭素・循環型社会の構築に向け、取り組みを推進します。
- 新潟港は、水素・燃料アンモニアなどの需要ポテンシャルが見込まれており、ゼロカーボンシティの実現を目指す本市において重要な拠点となるものです。
令和4(2022)年に新潟港カーボンニュートラルポート形成協議会が開催されるなど、脱炭素化に向けた機運の高まりがみられます。